

教科: 商業

科目: ビジネス法規

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択者

教科担当者:

使用教科書: (実教出版 ビジネス法規)

教科 商業

の目標:

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

商業の各分野について実践的・体系的・系統的に理解するとともに、学習活動を行う。

【思考力、判断力、表現力等】

ビジネスに関する課題を発見し、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う

【学びに向かう力、人間性等】

職業人として必要な豊かな人間性を育み、必要な資質・能力を育成することを目指す。

科目 ビジネス法規

の目標:

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解できるようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネス携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目的して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>商業の学習とビジネス</p> <p>【知識及び技能】商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスを適切に行うための法の概要について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ビジネスを円滑に経済活動の変化に伴って法規の改正などなどの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】法が憲法を最高法規としている体系的に存在していること一般法、特別法、公法、私法の適用の考え方を身に付ける。</p>	<p>第1章 法の概要</p> <p>1. ビジネスにおける法の役割</p> <p>2. 法の体系と解釈・適用</p>	<p>【知識・技能】商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの法の概要について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】商業を学ぶこと及び法規の意義と課題について、持続的な発展と関連について考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】ビジネスにおける法の基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協動的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>第2章 権利・義務と財産権</p> <p>【知識及び技能】権利・義務の概要、権利行使、特許権など法規と関連付けて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】国際競争力の強化とビジネスを継続的に展開する際の法知的財産権なども学習し、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物権・債権や知的財産権について、具体的な事例を用いて分析し、考察し学習活動に取り組む。</p>	<p>第2章 権利・義務と財産権</p> <p>1. 権利・義務とその主体</p> <p>2. 物と物権・債権</p> <p>3. 知的財産権</p>	<p>【知識・技能】権利義務などの財産権について、物権・債権知的財産権などに関連する法規を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】権利義務の取引に関する課題を発見し、その根拠に基づいて課題に取り組む。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】権利義務における取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協動的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	<p>第3章 財産権の変動</p> <p>【知識及び技能】契約・売買・貸借・不法行為・事項など法規に関連付けて学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】企業活動における具体的な事例を用いて法規と関連付けて理解し、その知識を身につける。</p>	<p>第3章 財産権の変動</p> <p>1. 契約</p> <p>2. 物の売買</p> <p>3. 物の賃貸借</p> <p>4. 不法行為</p> <p>5. 時効</p>	<p>【知識・技能】財産権の変動、物の売買、貸借などについて実務に即して理解するとともに、関連する法規を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】財産権の変動について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
<p>4章 企業活動と法規</p> <p>【知識及び技能】企業活動の主体とその商行為の概念、株式会社の意義、責任、譲渡などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】企業活動の主体とその商行為の概念、株式会社の意義、責任、譲渡などに関する課題を発見し、考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】企業活動の主体とその商行為の概念、株式会社の意義、責任、譲渡などに関する課題を発見し関連付け理解するというを身に付ける。</p>	<p>4章 企業活動と法規</p> <p>1. 企業活動の主体</p> <p>2. 株式会社の特徴と機関</p>	<p>【知識・技能】企業活動について経済社会における法規や事例と関連付けて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】企業活動特に株式会社について自ら学び、経済の基本概念を踏まえる。</p>	○	○	○	6	

